

公立大学法人横浜市立大学				
物 品 購 入 等 仕 様 書				
件 名	脳波計一式の購入 (製品明細、別紙内訳書のとおり)			
納入(履行)場所	神奈川県横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学 福浦キャンパス オープンイノベーションラボ棟3階 Eeg Studio			
納入期限(履行期間)	☒ 2026 年 8 月 31 日 ☐ 契約締結した日から 日以内 ☐ 年 月 日 から 年 月 日 まで			
支払方法	前 金 払	☒ しない ☐ す る		
	部 分 払	☒ しない ☐ す る (回以内)		
物品完納、受領検査合格の後、適法な請求書に基づく支払いとする。				
納入時の ☒ 据付調整, ☒ 動作確認, ☐ 既存機器撤去 を契約に含む。				
据付調整動作確認	本装置を据付調整の後、担当者立会いの下に動作確認及び性能試験を行い、本仕様を満たしていることを確認すること。			
機器操作説明	☒ 必 要 ☐ 不 要 実機を用いての説明（取扱説明書に基く口頭説明、他） 本システムに必要なマニュアル等は全て提出すること			
その他の特記事項	梱 包 の 開 封	☒ 契約に含む ☐ 契約に含まない	梱 包 材 の 撤 去	☒ 契約に含む ☐ 契約に含まない
	- 機器搬入の際は、必要に応じて通路などを養生し、建物、その他設備などに損傷を与えないこと。 - 機器搬入及び設置に当たっては、本学の業務に支障を与えないよう短時間で行うこと。また、安全に留意し作業手順等を含めて検討し、事前に本学担当者と打合せを行うこと。 - 機器搬入及び設置に当たり疑義が生じた場合は双方で協議し、解決するものとする。 - 本契約の履行に当たり知り得た情報は、本学の承諾無く第三者に漏らしはならない。			
製品保証等	- 納品者は、故障時のメーカー等への取次ぎ、消耗品の販売、情報提供等の必要なサポートサービスを確実に提供できる者であること。 - 納入された製品は、その性能の範囲を外れた、又は本来の用法に反した使用の場合を除くほか、納品検査完了日から起算して1年間の無償保証とする。			
発注担当	金沢八景キャンパス	研究・産学連携課	Tel 045-787-2008	担当 坂本
契約担当	金沢八景キャンパス	企画財務課	Tel 045-787-2495	担当 永木

物品購入等内訳書

発注部署	公立大学法人横浜市立大学 金沢八景キャンパス 研究・産学連携推進課 TEL 045-787-2008 担当 坂本					
納入場所	神奈川県横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学 福浦キャンパス オープンイノベーションラボ棟3階 Eeg Studio					
納入期限	☒ 2026 年 8 月 31 日 ☐ 契約締結した日から 日以内 ☐ 年 月 日 から 年 月 日まで					
部分払い	☒ しない ☐ する（ 回以内）					
契約金額	—（うち取引に係る消費税額及び地方消費の額）					
件名	脳波計一式の購入					
品名／仕様等	数量	単位	単価（円）	金額（円）		
脳波計	1	式				
(内訳)						
脳波計EEG-1260NEXT	2					
コントロールユニット	2					
脳波アンプユニット	2					
液晶ディスプレイユニット	2					
電極接続箱・入力箱スタンド	2					
操作パネル	2					
架台	2					
マルチタップ	2					
バッテリーユニット	2					
EEG設置調整費（複数台）	2					
エレフィックスV ZV-181E 2本入り	2					
スキンプュア YZ-0019	2					
消費税						
合 計			金 額			
備考						

詳細仕様書

1. 件名

オープンイノベーションラボ Eeg Studio にかかる脳波計一式の購入について

2. 脳波計の購入目的

Eeg Studio は、脳波計とシールドルームを整備した環境を核に、主としてメンタルヘルスケアに資する革新的な研究開発と実証を加速するための研究開発環境である。なお本業務は、「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）（※）」事業が目指す「健康・ウェルビーイングを支える研究・実装の推進」に資する研究・教育・産学連携の場を提供することが目的である。

具体的には、以下の目的を達成することを目指す。

■脳神経科学分野における研究の深化および新たな知見創出のための環境整備

- ・脳波計は、各種精神疾患、てんかん、脳腫瘍、頭部外傷、脳血管障害等の脳神経領域を対象とした研究において、脳波を中心とする生体情報を系統的に記録・収集する
- ・また病気ではないがメンタルヘルスに課題を抱える被験者に対しても、脳内の状態把握に活用する。
- ・Eeg Studio における研究利用を通じて、臨床現場由来の高品質なデータ蓄積と解析を可能とする

（※）地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）

日本全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進していくために、大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援と並行して行う事業です。地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営の下、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を図る環境整備を支援することにより、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としています。

（横浜市立大学の提案概要は別紙１のとおり）

3. 購入器具の内容

受託者は、以下の業内容を横浜市立大学と緊密に連携しながら遂行すること。

Eeg Studio への脳波計一式の納入

脳波計一式の仕様詳細については下記のとおり。

■脳波計一式の納入

〈詳細〉脳波計を以下の構成・性能で用意できること

品名	数量
脳波計 一式(EEG-1260NEXT)	
脳波計本体	2
コントロールユニット	2
脳波アンプユニット	2
バッテリーユニット	2
液晶ディスプレイユニット	2
LCDポール	2
電極接続箱・入力箱スタンド	2
操作パネル	2
アダプタ	2
ミニ電極接続箱	2
SpO2 アダプタ JL-500P2	2
フィンガープローブ TL-631T3	2
NC-143E ファストクリップ	2
脳波用心電図リード(DIN) BC-112B	2
レーザプリンタ	2
架台	2
マルチタップ	2
光刺激装置	2
スピーカユニット	2

LAN変換アダプタ	2
デジタルビデオソフトウェア	2
マイクセット	2
スピーカーセット	2
カラーカメラセット 4	2
スイッチングハブ	2
アダプタ	2

計測機能は以下の性能を有すること。
電極端子は、頭図位置 25 個のほか、多用途電極端子 16 個を装備していること。
呼吸、心電、筋電が測定可能なバイポーラ入力端子(8 ペア)が含まれていること。
脳波皿電極リード線の断線チェックが可能であること。
入力箱に SpO ₂ 専用端子を有し、測定できること。
DC 入力端子を 4 個有すること。
脳波入力部の弁別比(CMRR)は 120dB 以上であること。
入力抵抗は 200MΩ 以上であること。
内部雑音は 1.5μVp-p 以下であること。
脳波計の画面以外にも、脳波アンプユニット上からも、インピーダンスチェックができること。
インピーダンスチェックの結果はディスプレイ上に頭図状に表示され確認できること。
インピーダンスチェックの結果は電極接続箱にて頭図状の LED で確認できること。
あらかじめ設定した手順に基づいてインピーダンスチェック、CAL 波形記録およびパターン切り換えや賦活時脳波まで自動で測定する機能を有すること。
あらかじめ設定した各ステージの記録時間をカウントして表示することができること。
時定数は最大 10 秒まで設定できること。
サンプリング周波数は最大 4,000Hz、2,000Hz、1,000Hz、500Hz、200Hz から選択出来ること。また全電極同時サンプリングできること。
名前や ID から過去に測定したことのある患者属性情報をデータベースから検索して入力することができること。
脳波検査のファイリングスタートを、電極接続部から行えること。

検査中に電極装着した状態で一時的に場所を移動したりできるよう、ミニ電極接続箱による測定が出来ること。
ファイリング停止中やファイリング中の状態を知らせる表示ができること。
脳波をファイリング中にパソコン側との通信エラー等が発生した場合に備え、脳波アンプユニット側でデータのバックアップが可能であること。
脳波のファイリング中に患者の行動を極力制限しないように、入力部側でバッテリー駆動でファイリング中のデータを保存できること。
脳波ファイリング中の脳波波形の品質状態を検査者がリアルタイムに確認できること。
脳波ファイリング中に発生する交流障害、生体アーチファクト(筋電図、心電図、眼球運動)の情報を検査者(操作者)に通知する機能を有すること。
心電図の R 波をトリガにして加算平均した各チャネルの波形を脳波から引くことで心電図を除去する ECG フィルタを標準装備し、測定時および再生時に心電図の除去が可能であること。
脳波測定中に、同一ファイルの過去のデータを再生することができること。
DC 入力端子に入力したアナログ信号を画面上に波形と共に数値表示することができること。
脳波のファイリング中に脳波の周波数マップを表示することができること。
リファレンス電極、パターン、フィルタ条件の選択・切換えの他、インピーダンスチェックや光刺激・過呼吸の操作、イベント入力、ファイリング開始・停止までパネルキーによる操作が可能な操作パネルを有すること。
イベント入力に際して以下の機能を有すること。
測定時にあらかじめプログラムしておいたリストから、マウス、フルキーボード、操作パネルからイベントの入力ができること。
波形上に付箋紙のようにコメントを貼り付けて保存することができること。
イベント登録位置の縦線表示ができること。
パターン変更・光刺激などの操作時に自動的にイベント入力されること。
入力されたイベントは、画面上に波形と一緒に表示されること。
入力されたイベントは、再生時にデータの頭出しに活用できること。
入力されたイベントの一覧をプリンタで印刷することができること。
表示機能は以下を有すること。
カラーディスプレイ上に、脳波記録紙 1 枚分に相当する 10 秒の脳波波形が、タイムマーク・マークチャネルと一緒に表示されること。
モニタージュ名や波形コメントの ON/OFF ができること。
ビデオカメラで撮影している患者映像を測定中の画面に表示することができること。
罫線表示(0.2 秒、1 秒)の ON/OFF ができること。

イベントの表示ができること。
CAL(校正)波形が表示でき、時定数による過渡現象の変化が確認できること。
1 画面で最大 64 チャンルの測定波形が表示できること。
画面上に定規を表示することができること。
測定中、常に画面上に頭図モニタージュを表示することができること。
脳波を表示する大きさを、縦・横方向自由に設定できること。
波形描画方法として「詳細」、「ペン」の 2 種類から選択することができること。
ビデオカメラを接続でき、ビデオカメラ画像を表示・保存できること。
光刺激・過呼吸機能は以下を有すること。
光刺激の発光周波数の自動変更手順を 3 種類(AUTO1,2,3)までプログラムできること。
刺激パルスモードをシングル・ランダム・ダブルの 3 種類を有すること。
通常の発光周波数(0.5、1-33Hz)のほかに、40、50、60Hz を持ち、テレビ画面や商用電源等で誘発されるてんかんの検査に有効な光刺激ができること。
発光部に光刺激アダプタを装着することにより光駆動反応や光突発反応を誘発できる低輝度の幾何学模様を伴った光刺激を行うことができること。
過呼吸のテンポを音声またはビープ音、任意の音声フレーズで指示できる専用のユニットを装備していること。
過呼吸の指示音の音声フレーズを自由に録音することができること。
光刺激装置を LAN ケーブルを使って最大 50m まで延長できること(QI-940A 使用時)。
ファイリング機能は以下を有すること。
本体内蔵のハードディスクが 50Gbyte 以上で、保存電極数 25 電極+2 マークのサンプリング周波数 500Hz では約 500 時間以上の波形データの保存ができること。
CD-R、DVD-R ディスクにデータを保存できること。
測定中に、同じファイルの過去のデータの再生を行い、波形を確認することができること。
脳波と被検者の画像をデジタル化し、時刻同期して保存・再生を行うことができること。
指定された時間で区切りながら、複数ファイルで長時間の脳波データを保存する長時間記録機能ができること。
再生・解析機能は以下を有すること。
測定した脳波データは電極単位で保存し、再生時には自由自在にモニタージュを変更(リモニタージュ)したり、ハイカットフィルタや時定数の変更(リフィルタリング)、感度の変更、基準電極の変更、表示スピードの変更ができること。
イベントジャンプバーを使って、脳波ファイルの任意の位置への移動ができること。

各パターンの頭出し・賦活刺激データの頭出しができること。
脳波検査中に付加したイベントを指定すれば、波形の頭出しができること。
再生時にイベントログファイルの編集ができること。
測定時と同じスピードで再生する連続再生機能を有すること。
順方向・逆方向とも高速に連続再生する高速再生機能を有すること。
前後 1 ページ送り機能を有すること。
前後半ページ送り機能を有すること。
前後 1/10 ページ送り機能を有すること。
表示スピードは 1 秒・2 秒・5 秒・10 秒・15 秒・20 秒・30 秒・60 秒・2 分・3 分・5 分 / ページから選択できること。また、任意の値を設定して、そのスピードで表示することができること。
Trace モード機能により、測定時と同じ条件(アンプ条件やパターン)で再生できること。
脳波を再生する際に、測定中に生じた交流障害や生体アーチファクト(筋電図、心電図、眼球運動)を除去する機能を有すること
再生時に、指定した位置の波形電位を頭部モデルの 3 次元イメージにマップ表示することができること。
測定した脳波波形の品質状態を確認できる機能を有する事
波形の FFT 解析を行うことにより、最大 8ch の脳波の周波数と振幅の変化をトレンドとして表示(DSA 表示)することができること。
波形の選択した部分を拡大して表示することができること。
波形の表示条件(感度、TC、HF、Pattern、表示時間)を設定・登録することができること。
拡大した波形で、振幅・周波数を自動的に計測できること。
波形を再生する前に、そのデータに登録されているイベントだけを参照し、指定したイベント部分の波形を直接開くことができること。
登録した部分の波形を ASCII 形式で保存ができること。
別の波形部分または同じ被検者の別ファイルの波形を表示して、比較参照することができるスナップ機能を有すること。
波形の指定した部分をプリンタで印刷することができること。
脳波判読レポート作成機能を有すること
データ管理機能は以下を有すること。
測定した波形データの保存先ディスクのディスク番号と患者情報を自動的にデータベースに登録すること。

患者情報に入力されている項目でキーワード検索、複数の項目の組み合わせ検索等が可能な検索機能を備えていること。
DVD-R、CD-R ディスクのフォーマットができること。
DVD-R、CD-R ディスクに管理用のディスク番号を付加できること。
再生プログラムのインストールされていない PC 上で、脳波のデータを参照できるディスクを作成することができること。

〈保障〉

納入日より 1 年間、無償保証期間を設けること

(扉部のガスケット、天災等の不可抗力による破損や故障、取り扱いの誤操作による破損や故障は除く)

4. 納品物

以下の成果物を作成・納品すること。作成にあたっては、横浜市立大学および指導・助言者と十分に協議すること。

- ・脳波計 一式
- ・操作マニュアル（日本語、PPT 形式）
- ・施行計画書（発注から納入期限までのスケジュールがわかるもの）
- ・納品完了書（内訳が記載されているもの）

5. 履行期間

契約締結日～令和 8 年 8 月 31 日

6. 納入期限

令和 8 年 8 月 31 日

7. 納品場所

横浜市立大学 オープンイノベーションラボ (Eeg Studio) 3 階
〒236-0,004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

8. 守秘義務

受託者は、本委託業務の実施で知り得た非公開の情報を如何なる者にも漏洩してはならない。受託者は、本委託業務に係わる情報を他の情報と明確に区別して、善良な管理者の注意をもって管理し、本委託業務以外に使用してはならない。

9. その他

スケジュールや事業内容等に一定の変更が生じた場合は、横浜市立大学と協議の上、対応すること。この仕様書に記載されていない事項、または本仕様書について疑義が生じた場合は、横浜市立大学と適宜協議を行うものとする。

10. 特記事項

- ・ 契約後の追加費用は認められない。

なお、下記の費用などを含む不確定費用についても想定額として計上し、別途請求のないようにすること。

- ・ パススルー経費（ミーティングにかかる費用、交通費等）
- ・ 印刷費等の物品費
- ・ 各種文書作成経費（会議資料、報告書、計画書、証明書等）